



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月14日

上場会社名 わかもと製薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4512 URL https://www.wakamoto-pharm.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 範久  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 福原 和彦 TEL 03-3279-0371  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無: 無  
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	8,895	△18.5	△754	—	△604	—	△601	—
2020年3月期	10,916	1.6	△996	—	△911	—	△1,656	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△17.34	—	△5.2	△4.0	△8.5
2020年3月期	△47.73	—	△12.9	△5.4	△9.1

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	14,572	11,385	78.1	328.04
2020年3月期	15,983	11,947	74.8	344.22

(参考) 自己資本 2021年3月期 11,385百万円 2020年3月期 11,947百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	163	△199	△3	2,843
2020年3月期	△155	△178	△44	2,883

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 次期の配当は未定であります。

### 3. 2022年3月期の個別業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,100	—	60	—	80	—	120	—	3.46

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準29号)等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	34,838,325株	2020年3月期	34,838,325株
2021年3月期	130,888株	2020年3月期	130,591株
2021年3月期	34,707,600株	2020年3月期	34,707,813株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績等の概況」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
(4) 事業等のリスク .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	8
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(持分法損益等) .....	12
(セグメント情報) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績等の概況

業績の概要については、次のとおりであります。

当事業年度における日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大による個人消費の低迷・インバウンド需要の消失等により、経済活動が停滞いたしました。また先行きについても極めて不透明な状況にあります。

医薬事業を取り巻く環境は、後発品使用促進策や長期収載医薬品の薬価引下げなどの薬剤費抑制政策が継続的に推し進められ、引き続き厳しい事業環境にありました。

また、ヘルスケア事業を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの影響による国内消費の落ち込みに加え、インバウンド需要が急激に悪化いたしました。

そのなかにおいて当社の医薬事業では、主力製品である眼科手術補助剤・眼科用副腎皮質ホルモン剤「マキユエイド眼注用40mg」、アレルギー性結膜炎治療剤「ゼペリン点眼液0.1%」、水溶性非ステロイド性抗炎症点眼剤「ジクロード点眼液0.1%」、緑内障・高眼圧症治療剤「リズモンT G点眼液」及び主力製品として育成すべき重要な製品の緑内障・高眼圧症治療剤(特許を持った後発品)「カルテオロール塩酸塩L A点眼液」、「ラタノプロスト点眼液0.005%NP」に加えて、乳酸菌製剤「レベニン錠」シリーズ、業務提携先との共同販促品であるA型ボツリヌス毒素製剤「ボトックス注用」、緑内障・高眼圧症治療剤「ドルモロール配合点眼液」、「ピマトプロスト点眼液0.03%」、サプリメント「オプティエイド」シリーズ、さらには医薬品原料等の販売促進並びに受託製造販売を行ってまいりました。

ヘルスケア事業では、主力製品である「強力わかもと」に加え、エビデンスに基づき口臭予防を訴求した薬用歯磨き(医薬部外品)「アバンビーズ」シリーズ2製品及び通販事業を主体に「アバンビーズ オーラルタブレット」(乳酸菌含有加工食品)の販売促進を行ってまいりました。

国際事業では、海外向け「わかもと」及び医薬品、原料薬品の製造販売並びにライセンスイン・アウトの活動を行ってまいりました。

その結果、当事業年度の売上高は88億9千5百万円(前期比18.5%減)、営業損失7億5千4百万円(前年同期は営業損失9億9千6百万円)、経常損失6億4百万円(前年同期は経常損失9億1千1百万円)、当期純損失6億1百万円(前年同期は当期純損失16億5千6百万円)となりました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大による事業休業により雇用調整助成金として1億1百万円を営業外収益に計上しております。また、保有有価証券の一部を売却したことに伴い投資有価証券売却益2億1千7百万円を特別利益に計上しております。一方、WP-1108(BBG250を主成分とする眼科用手術補助剤)の開発のために資産計上していた特許実施権を取り崩したため、特別損失として3億円を計上しております。

セグメント別の売上高の状況につきましては、医薬事業では、「ドルモロール配合点眼液」、「カルテオロール塩酸塩L A点眼液」、サプリメント「オプティエイド」シリーズの売上が増加いたしました。新型コロナウイルス感染拡大に伴う患者さんの医療機関への受診抑制、手術・検査数の減少等により「マキユエイド眼注用40mg」、「キャピリアアデノアイNeo」の売上が減少し、また原薬供給停滞に伴う供給停止により「FAD腸溶錠」の売上が減少いたしました。この結果、売上高は56億1千2百万円(前年同期比14.6%減)となりました。

ヘルスケア事業では、通販事業における「アバンビーズ オーラルタブレット」の売上が増加いたしました。訪日外国人激減の影響等により主力製品の「強力わかもと」が大幅に減少いたしました。この結果、売上高は22億9千3百万円(前年同期比34.8%減)となりました。

国際事業では、輸出用の「ゼペリン」が減少いたしました。海外向け「わかもと」が増加いたしました。この結果、売上高は8億2千7百万円(前年同期比29.3%増)となりました。

不動産賃貸業の主たる収入はコレド室町関連の賃貸料であります。コレド室町は政府や東京都からの休業要請を受け、当事業年度において2020年4月8日から5月28日まで商業施設の休館、その後の期間においても営業時間短縮を行ってまいりました。この結果、売上高は1億6千1百万円(前年同期比14.9%減)となりました。

次期の見通しにつきましては、次のとおりであります。

医薬品業界は薬剤費抑制のなか依然として厳しい状況が続くものと予想され、当社においても主力点眼剤の後発品への切り替え等に加え、新型コロナウイルスの影響によるインバウンド需要の低迷等、厳しさが継続する状況にあります。このような環境下、中期的には「医療機器」の分野へ新たに参入し、眼内レンズの導入を通じて医薬品事業とのシナジー効果を期待し、業容拡大に向けた戦略の一つとして取り組んでまいります。

2022年3月期につきましては、売上高91億円、営業利益6千万円、経常利益8千万円、当期純利益1億2千万円と見込んでおります。

## (2) 当期の財政状態の概況

## ①資産、負債及び純資産の状況

当事業年度末における総資産は、145億7千2百万円となり前事業年度末比14億1千万円(8.8%減)の減少となりました。流動資産は76億3千8百万円となり10億1千万円(11.7%減)の減少、固定資産は69億3千4百万円となり4億円(5.5%減)の減少となりました。

流動資産が減少いたしましたのは、売掛金、製品、仕掛品が減少したことが主たる要因であります。固定資産が減少いたしましたのは、特許実施権が減少したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、31億8千6百万円となり前事業年度末比8億4千9百万円(21.0%減)の減少となりました。流動負債は17億1千2百万円となり7億2千1百万円(29.7%減)の減少、固定負債は14億7千4百万円となり1億2千7百万円(8.0%減)の減少となりました。

流動負債が減少いたしましたのは、支払手形、買掛金が減少したことが主たる要因であります。固定負債が減少いたしましたのは、繰延税金資産を計上したことに伴い、相殺後の繰延税金負債が減少したことが主たる要因であります。

純資産の部は、113億8千5百万円となり前事業年度末比5億6千1百万円(4.7%減)の減少となりました。繰越利益剰余金が減少したことが主たる要因であります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の74.8%から78.1%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末から3千9百万円減少し、28億4千3百万円となりました。その内容の主なものは次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動により増加した資金は1億6千3百万円となりました。(前年同期に比べ収入が3億1千8百万円増加)

税引前当期純損失が7億3百万円に加え、非資金支出項目である減価償却費が4億8千4百万円、売上債権の減少額が4億7千7百万円、たな卸資産の減少額が5億4百万円あったことが主な要因であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動により減少した資金は1億9千9百万円となりました。(前年同期に比べ支出が2千万円増加)

有形固定資産の取得による支出が3億5千8百万円ありましたが主な要因であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動により減少した資金は3百万円となりました。(前年同期に比べ支出が4千万円減少)

リース債務の返済による支出が3百万円あったことが主な要因であります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	77.7	79.0	77.5	74.8	78.1
時価ベースの自己資本比率(%)	50.3	54.6	54.9	49.9	101.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	43.0	55.5	-	-	63.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	173.8	162.7	-	-	286.7

自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額(期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後))/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー/利払い

2019年3月期、2020年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及び、インタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

## (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は配当につきましては、安定的な配当を基本としながら財務体質の強化を図りつつ製造設備・技術の強化、研究開発、営業活動の強化のための投資に積極的に資金を充当し、企業価値の増大を目指したいと考えております。当期業績や財務状況等を総合的に勘案し、当期の配当は無配とさせていただきたく存じます。

また、次期の配当につきましては業績や財務状況等の先行きが不透明であることから、中間配当金・期末配当金ともに現時点では未定であります。

## (4) 事業等のリスク

当社の財政状態及び経営成績に影響を与える可能性のある主なリスクは、以下のようなものがあります。なお、文中の将来に関する事項は、当事業年度末現在において当社が判断したものであります。

## ①法的規制について

当社は薬機法をはじめとする、各種の薬事関連の規制のもとにあり、医薬品の開発、製造、流通、その他の段階で、様々な承認・認可制度や監視制度が設定されております。これらの規制の新設及び強化等により財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

## ②薬価改定について

医療用医薬品では、毎年実施される薬価改定により医薬品の薬価が下がる可能性があります。販売価格の下落により財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

## ③医薬品の開発について

医薬品の開発には多くの費用・労力・時間を要しますが、それにもかかわらず、商業的に成功する製品とならない可能性があります。研究開発の成果を享受できない場合、財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

## ④訴訟リスクについて

当社が営業活動を行なうにあたり、製造物責任（PL）関連、環境関連等に関し、訴訟を提起される可能性があります。訴訟を提起された場合、財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

## ⑤災害・事故等について

当社の生産拠点は相模大井工場の1ヵ所のみであるため、この地域において大規模災害の発生や事故等により、操業中断に追い込まれる事態になった場合、財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

## ⑥製商品の販売状況について

当社医療用医薬品事業の主力点眼剤の後発品への切り替え等により、これら競合品との競争激化が、財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

## ⑦新型コロナウイルス感染拡大のリスクについて

当社ヘルスケア事業の主力製品は、訪日客向けの需要がありインバウンドの動向によっては経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

これらの他にも様々なリスクが存在しており、ここに記載されたリスクが当社の全てのリスクではありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,883,666	2,843,762
売掛金	3,078,450	2,600,654
商品及び製品	1,410,642	1,066,667
仕掛品	504,744	316,427
原材料及び貯蔵品	548,492	575,788
前払費用	87,418	91,230
前渡金	58,565	15,011
未収入金	27,834	56,465
未収還付法人税等	6,966	51,432
その他	41,318	20,610
流動資産合計	8,648,099	7,638,052
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,841,082	7,882,840
減価償却累計額	△4,906,097	△5,095,505
建物(純額)	2,934,984	2,787,334
構築物	268,504	268,504
減価償却累計額	△228,707	△236,385
構築物(純額)	39,796	32,118
機械及び装置	8,057,099	8,285,197
減価償却累計額	△7,652,178	△7,799,823
機械及び装置(純額)	404,921	485,373
車両運搬具	50,273	35,453
減価償却累計額	△40,968	△31,105
車両運搬具(純額)	9,304	4,347
工具、器具及び備品	982,997	1,013,475
減価償却累計額	△881,880	△910,089
工具、器具及び備品(純額)	101,116	103,386
土地	82,947	82,947
建設仮勘定	75,400	31,000
有形固定資産合計	3,648,472	3,526,508
無形固定資産		
特許実施権	300,000	—
特許権	109	—
ソフトウェア	177,595	195,666
ソフトウェア仮勘定	3,750	1,930
その他	3,680	3,680
無形固定資産合計	485,134	201,276

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	2,411,421	2,466,163
保険積立金	468,720	444,909
長期前払費用	74,286	61,315
貸倒引当金	△41,736	△37,813
修繕積立金	—	21,543
その他	289,021	250,517
投資その他の資産合計	3,201,714	3,206,634
固定資産合計	7,335,321	6,934,419
資産合計	15,983,421	14,572,472
負債の部		
流動負債		
支払手形	475,446	226,652
買掛金	821,839	547,818
短期借入金	100,000	100,000
未払金	15,554	12,711
未払法人税等	34,944	39,029
未払費用	626,630	464,168
前受金	279	299
預り金	14,684	14,332
賞与引当金	170,000	115,900
返品調整引当金	3,000	4,000
設備関係支払手形	58,497	67,492
設備関係未払金	110,499	54,877
リース債務	3,233	1,059
その他	—	64,385
流動負債合計	2,434,608	1,712,726
固定負債		
退職給付引当金	1,079,452	1,053,640
長期預り金	170,225	171,206
リース債務	3,709	2,649
繰延税金負債	348,336	246,678
固定負債合計	1,601,724	1,474,174
負債合計	4,036,333	3,186,901

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金		
資本準備金	2,675,826	2,675,826
その他資本剰余金	2	2
資本剰余金合計	2,675,828	2,675,828
利益剰余金		
利益準備金	476,536	476,536
その他利益剰余金		
別途積立金	3,953,000	3,953,000
繰越利益剰余金	510,034	△91,821
利益剰余金合計	4,939,571	4,337,714
自己株式	△36,125	△36,211
株主資本合計	10,975,161	10,373,219
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	971,925	1,012,351
評価・換算差額等合計	971,925	1,012,351
純資産合計	11,947,087	11,385,570
負債純資産合計	15,983,421	14,572,472

## (2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高		
製品売上高	10,034,686	8,162,612
商品売上高	692,360	571,660
賃貸事業収益	189,853	161,565
売上高合計	10,916,899	8,895,838
売上原価		
製品及び商品期首たな卸高	1,379,604	1,410,642
当期製品製造原価	4,348,551	3,674,083
当期商品仕入高	392,864	319,956
賃貸事業原価	109,963	112,425
合計	6,230,984	5,517,108
他勘定振替高	96,373	43,272
製品及び商品期末たな卸高	1,410,642	1,066,667
売上原価合計	4,723,967	4,407,168
売上総利益	6,192,932	4,488,669
返品調整引当金繰入額	△1,000	1,000
差引売上総利益	6,193,932	4,487,669
販売費及び一般管理費	7,190,210	5,242,617
営業損失(△)	△996,278	△754,947
営業外収益		
受取利息	25	22
受取配当金	44,962	45,830
雇用調整助成金	—	101,867
その他	65,591	26,017
営業外収益合計	110,579	173,738
営業外費用		
支払利息	669	569
寄付金	16,619	14,277
支払補償費	—	8,376
その他	8,054	528
営業外費用合計	25,343	23,751
経常損失(△)	△911,042	△604,961
特別利益		
投資有価証券売却益	—	217,246
特別利益合計	—	217,246
特別損失		
固定資産除却損	—	15,292
減損損失	—	300,000
特別損失合計	—	315,292
税引前当期純損失(△)	△911,042	△703,007
法人税、住民税及び事業税	17,529	17,493
法人税等調整額	727,967	△118,644
法人税等合計	745,497	△101,151
当期純損失(△)	△1,656,539	△601,856

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
						別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	3,395,887	2,675,826	2	2,675,828	476,536	3,953,000	2,166,573	6,596,110	△36,056
当期変動額									
剰余金の配当							-	-	
当期純損失(△)							△1,656,539	△1,656,539	
自己株式の取得									△69
自己株式の処分			-	-					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	△1,656,539	△1,656,539	△69
当期末残高	3,395,887	2,675,826	2	2,675,828	476,536	3,953,000	510,034	4,939,571	△36,125

	株主資本	評価・換算差額等		純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	12,631,770	1,129,208	1,129,208	13,760,978
当期変動額				
剰余金の配当	-			-
当期純損失(△)	△1,656,539			△1,656,539
自己株式の取得	△69			△69
自己株式の処分	-			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		△157,282	△157,282	△157,282
当期変動額合計	△1,656,608	△157,282	△157,282	△1,813,891
当期末残高	10,975,161	971,925	971,925	11,947,087

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
						別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	3,395,887	2,675,826	2	2,675,828	476,536	3,953,000	510,034	4,939,571	△36,125
当期変動額									
剰余金の配当									
当期純損失(△)							△601,856	△601,856	
自己株式の取得									△86
自己株式の処分									
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計							△601,856	△601,856	△86
当期末残高	3,395,887	2,675,826	2	2,675,828	476,536	3,953,000	△91,821	4,337,714	△36,211

	株主資本	評価・換算差額等		純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	10,975,161	971,925	971,925	11,947,087
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純損失(△)	△601,856			△601,856
自己株式の取得	△86			△86
自己株式の処分				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		40,425	40,425	40,425
当期変動額合計	△601,942	40,425	40,425	△561,516
当期末残高	10,373,219	1,012,351	1,012,351	11,385,570

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純損失(△)	△911,042	△703,007
減価償却費	465,236	484,314
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,028	△3,922
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△43,582	△25,812
賞与引当金の増減額(△は減少)	28,400	△54,100
受取利息及び受取配当金	△44,988	△45,852
支払利息	669	569
固定資産除却損	3,018	15,575
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△217,246
減損損失	-	300,000
売上債権の増減額(△は増加)	564,326	477,795
たな卸資産の増減額(△は増加)	10,193	504,995
仕入債務の増減額(△は減少)	17,791	△522,814
未払又は未収消費税等の増減額	64,027	78,887
預り敷金及び保証金の受入による収入	898	980
その他	△344,311	△110,178
小計	△191,391	180,184
利息及び配当金の受取額	44,988	45,852
利息の支払額	△669	△569
法人税等の還付額	22,421	6,966
法人税等の支払額	△30,412	△68,994
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△155,064</b>	<b>163,438</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△138,485	△358,682
投資有価証券の取得による支出	△2,848	△2,921
投資有価証券の売却による収入	-	222,838
無形固定資産の取得による支出	△38,464	△92,643
その他の投資等の取得による支出	△30,311	△30,930
その他の投資等の売却による収入	31,397	62,826
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△178,712</b>	<b>△199,513</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△40,000	-
自己株式の取得による支出	△66	△84
リース債務の返済による支出	△3,691	△3,233
配当金の支払額	△612	△511
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△44,370</b>	<b>△3,829</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△378,146	△39,904
現金及び現金同等物の期首残高	3,261,813	2,883,666
現金及び現金同等物の期末残高	2,883,666	2,843,762

(5) 財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(持分法損益等)  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、営業組織として分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に医薬部門、ヘルスケア部門、国際部門を置き、それぞれの部門が取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し事業活動を展開、並びに不動産賃貸業を営んでおります。

したがって、当社は上記3部門の事業および不動産賃貸業を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「医薬事業」「ヘルスケア事業」「国際事業」「不動産賃貸業」の4つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注2)	財務諸表 計上額 (注1)
	医薬事業	ヘルスケア 事業	国際事業	不動産 賃貸業			
売上高							
外部顧客への売上高	6,570,006	3,517,186	639,853	189,853	10,916,899	—	10,916,899
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,570,006	3,517,186	639,853	189,853	10,916,899	—	10,916,899
セグメント利益又は損失 (△)	△997,283	△172,607	93,719	79,892	△996,278	—	△996,278
セグメント資産	6,330,129	2,405,016	270,696	831,800	9,837,642	6,145,778	15,983,421
その他の項目							
減価償却費	282,495	120,806	21,977	39,957	465,236	—	465,236
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	132,727	59,219	10,051	—	201,998	—	201,998

(注) 1. セグメント利益又は損失は、損益計算書の営業損失と一致しております。

2. セグメント資産のうち、調整額に含めた全社資産の金額は6,145,778千円であり、その主なものは、余資運用資金(現金預金)及び長期投資資金(投資有価証券)であります。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注2)	財務諸表 計上額 (注1)
	医薬事業	ヘルスケア 事業	国際事業	不動産 賃貸業			
売上高							
外部顧客への売上高	5,612,804	2,293,939	827,529	161,565	8,895,838	—	8,895,838
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,612,804	2,293,939	827,529	161,565	8,895,838	—	8,895,838
セグメント利益又は損失 (△)	△371,273	△300,032	△132,780	49,139	△754,947	—	△754,947
セグメント資産	5,508,241	1,808,345	332,699	812,126	8,461,413	6,111,058	14,572,472
その他の項目							
減価償却費	283,893	136,504	24,337	39,578	484,314	—	484,314
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	345,339	85,308	18,298	978	449,924	—	449,924

(注) 1. セグメント利益又は損失は、損益計算書の営業損失と一致しております。

2. セグメント資産のうち、調整額に含めた全社資産の金額は6,111,058千円であり、その主なものは、余資運用資金(現金預金)及び長期投資資金(投資有価証券)であります。

#### 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医薬事業」セグメントにおいて、WP-1108の開発進捗遅延により、当該開発のための特許実施権の減損損失を特別損失に計上しております。なお、当該減損損失計上額は300,000千円であります。

## (1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	344円 22銭	328円 04銭
1株当たり当期純損失(△)	△47円 73銭	△17円 34銭

(注) 1. 前事業年度及び当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
当期純損失(△) (千円)	△1,656,539	△601,856
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(△)(千円)	△1,656,539	△601,856
期中平均株式数(千株)	34,707	34,707

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。